

動物由来感染症について

野生動物も病気を持っている
場合があります

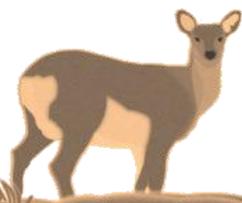
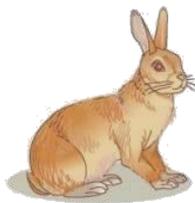
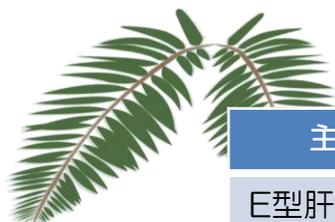
私たちの身の回りにすむ野生動物は、臓器、筋肉、皮膚、体毛などに、細菌や寄生虫などの病原体を持っていることがあります。

動物由来感染症
とは

動物由来感染症とは、動物から人に感染する病気の総称です。これらは、人には重い影響を与えないもの、人にも非常に重い病気をひきおこすものなど様々なものがあります。

狩猟鳥獣も、このような病気を発生させる細菌や寄生虫などを持っている場合があります

主な感染症	感染源となる主な狩猟鳥獣	感染経路	人の症状（特徴）
E型肝炎	イノシシ、シカ等	生肉等をたべる	発熱や肝機能障害の他、悪心、食欲不振、腹痛等の消化器症状を伴う
野兔病	ノウサギ、げっ歯类等	血液や内臓等に直接さわる	頭痛、筋肉痛や関節痛を伴う突然の発熱、呼吸器症状、リンパ節の腫れ等
レプトスピラ症	げっ歯类等	菌のいる水や尿にさわる	急性の熱性疾患、風邪様症状、結膜充血、黄疸等
ライム病	シカ等	ダニに刺される	刺口から遊走性紅斑の拡大、倦怠感、発熱等
日本紅斑熱	げっ歯類、シカ等	ダニに刺される	発熱、発疹、刺し口等
ツツガムシ病	げっ歯类等	ツツガムシに刺される	発熱、発疹、刺し口等
トキソプラズマ症	鳥類、哺乳類	生肉等を食べる	免疫力低下時に、インフルエンザ様症状、妊婦の感染による胎児への異常等
Q熱	クマ、シカ、カラス等	乾燥した糞や毛などを吸い込む	悪寒を伴う急激な発熱、頭痛等



狩猟をする時は
こんなことに注意しましょう

狩猟の際の注意点

動物由来感染症は、このように伝播することがあります

直接伝播

咬まれる、なめられる、
ひっかかれる、
排泄物・唾液・血液等を触る

間接伝播

ダニなどを介する（ダニ、蚊、ノミ等）
環境を介する（水、土）
食品を介する（肉、卵）

野生動物と接するときは

長袖・長ズボン・手袋を着用する。
解体後、手洗い・入浴をする。
血液や唾液、排泄物に触れない。
残滓は埋設、焼却する。

肉を食用とするときは

血液等がついたナイフなどで調理する時はその前に洗浄する。
肉の内部が70度以上になるように加熱し、生食は絶対に避ける。

狩猟の後、発熱や異常を感じたら、
野生動物と接触があったことを告げて、
速やかに医師の診察を受けて下さい